

# 令和4年度事業報告

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

## 1. はじめに

本年度はコロナウイルスの感染状況を意識しながら運営にあたる年度となったが、過去2年間取り組んできた感染対策の実績をもとに、これまで中止してきた大半の事業を再開させるなど、事業運営もコロナ以前に戻りつつある再始動とも位置付けられる年度となった。

芸術祭の開会式が組み込まれる展示部門作品展の会場都合により、59回目の宮城県芸術祭は例年から2カ月前倒しの7月からの開始となり、いつもとは異なる日程にその対応も苦慮することも想定されたが、会員展・公募展ともに作品点数は増加または維持しながら開催するなど、軒並み堅調な運営を行い、コロナ等の影響も受けることなく、そのまま年度末の音楽コンクール本選まで予定していた全ての事業を実施することができた。

また、本年度は既存事業に加え、宮城県からの協力要請を受けて、「宮城県政150周年記念事業」及び「中国吉林省の友好県省締結 35周年記念事業」にも対応。県行政における芸術文化振興のカウンターパートとしての位置づけをさらに確かなものとすることができた。

次年度に行う東北・北海道芸術文化団体協議会の創立50周年記念事業シンポジウムの開催に向け、その準備も本年度の交流事業において実施。各加盟団体と連携強化を図り、さらなる準備を次年度へ継続していく。

ポストコロナの本格的な社会活動の再開も見据えられる中で、本年度は今後の協会運営の基軸とする団体としての在り方と、その意義をより確かなものにするための足場固めを行う年度として、その形を着実に積み重ねた1年となった。

## 2. 会員状況

正会員、名誉会員の総数は前年度末1,835名から本年度末1,780名。55名減少(入会52名・退会107名)。

賛助会員の個人及び団体の総数は前年度末112から本年度末102件(団体70、個人32)。10件の減少(新規1〔個人〕、退会11〔団体7、個人4〕)。過去3年分も併せた各内訳及び推移は下表のとおりである。

部 門	令和元	令和2	令和3	令和4			
				正会員	名誉会員	計	前年比増減
絵画部 (日本画)	89	84	85	80	2	82	△3
絵画部 (洋画)	345	349	344	339	4	343	△1
彫刻部	39	39	39	39	0	39	0
工芸部	87	88	87	82	2	84	△3
書道部	391	369	352	344	1	345	△7
華道部	134	138	127	129	0	129	2
邦楽部 (三曲・琵琶)	38	36	35	33	0	33	△2
邦楽部 (長唄)	34	33	27	25	0	25	△2
洋楽部	137	137	130	131	1	132	2
演劇部	2	2	2	2	0	2	0
文芸部	242	227	226	205	4	209	△17
舞踊部	13	13	15	15	0	15	0
茶道部	286	281	259	239	1	240	△19
写真部	119	118	107	102	0	102	△5
計	1,956	1,914	1,835	1,765	15	1,780	△55
賛助会員	111	112	112	—	—	102	△10
合 計	2,067	2,026	1,947	—	—	1,882	△65

### 3. 会議に関する事項

定時総会、理事会及び監事会を次のとおり実施した。

#### (1) 定時総会

会議名	期日	会場	審議事項
定時総会	5/21	仙台市福祉プラザ ふれあいホール	第1号議案 令和3年度事業報告及び収支決算について 第2号議案 役員の選任について

#### (2) 理事会

会議名	期日	会場	審議事項
第1回理事会	4/15	芸術協会 会議室	第1号議案 令和3年度事業報告及び収支決算について 第2号議案 役員候補者の推薦について 第3号議案 令和4年度定時総会の開催について 第4号議案 正会員の入会について 第5号議案 賛助会員の推薦について
第2回理事会	5/21	仙台市福祉プラザ ふれあいホール	第1号議案 理事長及び執行理事の選定について 第2号議案 名誉会員の推薦について 第3号議案 参事の推薦について 第4号議案 正会員の入会について
第3回理事会	8/8	東京エレクトロン宮城 401 中会議室	第1号議案 正会員の入会について
第4回理事会	12/12	芸術協会会議室	第1号議案 令和5年度事業計画及び予算編成の方針について
第5回理事会	3/20	芸術協会会議室	第1号議案 令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 第2号議案 名誉会員の推薦について 第3号議案 正会員の入会について

※第3回・第5回理事会では、定款第24条第4項に基づき、理事長及び執行理事の職務執行状況の報告が行われた。

#### (3) 監事会

会議名	期日	会場	審議事項
監事会	4/11	芸術協会 会議室	令和3年度事業報告及び会計監査

### 4. 事業について

#### (1) 宮城県芸術祭の開催【公益目的事業1】

定款第4条(1)に規定する59回目の開催となる宮城県芸術祭を、宮城県、仙台市、河北新報社、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、公益財団法人宮城県文化振興財団、公益財団法人仙台市市民文化事業団との8団体共催により開催した。

なお、展示部門作品展の会場都合により、本年度は例年より2カ月早い開催となり、7月9日に開会式(会場: せんだいメディアテーク・参加者79名)、11月28日に表彰式(会場: ホテルメトロポリタン仙台・参加者115名)を行った。開催期間内における各事業の概要は次のとおり。

### ①展示関係事業

展示部門の会員の作品展を次のとおり開催した。

事業名	期間	会場	入場者数	作品点数
華道展	7/9～7/12	せんだいメディアテーク5F	1,784名	46点
書道展	7/9～7/12	せんだいメディアテーク5・6F	2,870名	265点
写真展	7/16～7/19	せんだいメディアテーク5F	1,650名	73点
彫刻展	7/16～7/19	せんだいメディアテーク6F	1,219名	26点
絵画展	7/23～7/26	せんだいメディアテーク5・6F	5,013名	日本画 30点・洋画 163点・役員等 76点
工芸展	11/9～11/13	TFU ギャラリーミニモリ	1,919名	57点

※1 各展のギャラリートーク等の併催イベントは新型コロナウイルス感染予防の観点から中止とした。

※2 写真展では企画展として「わが街 10年の歩み～気仙沼市東日本大震災 10年復興事業の記録 写真集団『鼎』」、「運営委員 渾身の一枚(モニター展示)」を行った

※3 工芸展では小品コーナーを設け、28名の会員作品を会期内展示した。

### ②演奏関係事業

邦楽部(長唄)、洋楽部において次のとおり演奏会を開催した。(長唄演奏会は3年ぶりの開催)

事業名	期日	会場	入場者数	出演者数
長唄演奏会	10/16	トークネットホール仙台	148名	会員 13名 外部 1名
音楽会	10/28	日立システムズホール仙台	378名	会員 15名

### ③文芸関係事業

文芸部において各事業を次のとおり実施した。

文芸祭では文芸賞受賞者による作品の感懐と朗読、3年ぶりに実施した公募の入選発表と表彰を行った。

事業名	期日	会場	入場者数	備考
文学散歩	10/6～10/7	山形・庄内方面	—	参加者 23名
「宮城県文芸年鑑」発行	10/15	—	—	700部発行
文芸祭	10/22	東京エレクトロンホール宮城	95名	—

※文芸祭 文芸作品公募応募作品数 ( )=は応募人数

	詩	短歌	俳句	川柳	エッセー	合計
高校生・一般	5(5)	74(31)	92(36)	49(25)	12(12)	232(109)
ジュニア	8(8)	190(179)	184(181)	11(6)	—	393(374)

### ③人材育成事業

幅広い県民参加の促進と各部の裾野の拡大や後継者の育成を目的に人材育成事業を次のとおり実施した。

#### a. 公募展の開催

写真部、絵画部、彫刻部において一般公募の作品展を次のとおり開催した。

事業名	期間	会場	入場者数	作品点数
フォトサミット in Sendai 2022	7/16～7/19	せんだいメディアテーク5F	1,650名	応募(人数)1,222点(279名) 入選 106点
絵画展(公募の部)	7/16～7/19	せんだいメディアテーク6F	1,219名	90点
彫刻公募展	7/16～7/19	せんだいメディアテーク6F	1,219名	応募 17点、入選 16点

#### b. 音楽コンクールの実施

昨年度(第42回)コンクールの受賞者への特典とするガラコンサートを次のとおりに開催した。コンサートでは洋楽部会員による管弦楽団を構成し、出演者と共演した。

また、第43回音楽コンクールをピアノ部門、ヴァイオリン部門の2部門で次のとおり実施した。

事業名	期日	会場	参加者	入場者数
第42回音楽コンクール ガラコンサート	9/25	日立システムズホール仙台	出演受賞者 28名 芸術協会管弦楽団 31名	402名
第43回音楽コンクール予選 ピアノ部門 ヴァイオリン部門	2/13	日立システムズホール仙台	ピアノ部門予選出場:152名 初級A:23名、初級B:18名 中級A:48名、中級B:35名 上級A:14名、上級B:14名 ヴァイオリン部門予選出場:60名 初級A:17名、初級B:11名 中級:24名・上級:8名	323名
第43回音楽コンクール本選 ピアノ部門	3/19		ピアノ部門本選出場:80名 初級A:17名、初級B:10名 中級A:21名、中級B:18名 上級A:7名、上級B:7名	429名
第43回音楽コンクール本選 ヴァイオリン部門	3/26		ヴァイオリン部門本選出場:63名 初級A:12名・初級B:8名 中級:19名・上級:6名 ※以下、本選のみのクラス きらきら星コンクール:16名 ツィゴイネルワイゼンコンクール:2名	

#### c. 各種セミナーの実施

写真部において、一般県民を対象としたセミナーを次のとおり開催した。

事業名	期日	会場	参加者	備考
第1回写真セミナー	9/9	芸術協会 会議室	6名	講師:伊藤 トオル 会員
第2回写真セミナー	9/16	芸術協会 会議室	12名	講師:EIZO 株式会社
第3回写真セミナー	9/30	芸術協会 会議室	8名	講師:高橋 吉勝 会員

## (2) 芸術文化の振興に関する展覧会、講演会、研究会、発表会などの主催又は後援【公益目的事業 2】

定款第4条(2)に規定する本協会の主催及び後援の各事業を次のとおり開催した。

### ①鑑賞機会提供事業

多くの県民に本協会の会員による芸術作品や音楽会など鑑賞する機会を提供することを目的とした事業を次のとおり開催した。

事業名	期間	会場	入場者数	作品点数等
第59回宮城県芸術祭絵画展受賞者作品展 [共催:公益財団法人宮城県文化振興財団]	11/30～ 12/6	東京エレクトロンホール宮城	553名	会員の部 42点 公募の部 13点
みやぎミュージックフェスタ in くりはら [共催:河北新報社・公益財団法人河北文化事業団・公益財団法人宮城県文化振興財団]	3/12	栗原文化会館	763名	出演:本協会関係 21名 栗原市関係 181名

### ②人材育成事業

芸術文化に関する人材育成と各分野の幅広い裾野拡大を目的とした各事業を次のとおり実施した。

事業名	期日	会場	入場者数	備考
第2回宮城県各流子ども舞踊大会 [主催:公益社団法人日本舞踊協会宮城支部]	7/24	仙台市福祉プラザ	140名	出演:5社中 19名
第3回杜のみやこ工芸展 [共催:河北新報社・公益財団法人河北文化事業団・公益財団法人宮城県文化振興財団]	11/9～ 11/13	TFU ギャラリーミニモリ	1,919名	応募作品数(人数) 200点(162名) 入選:172点(内:主催団体 等賞 19点、奨励賞 19点)
書道部による県内小中学校の講師派遣事業	11/11～ 1/20	県内小中学校 16校	—	書道部派遣会員 12名
第9回定禅寺フォトコンテスト [共催:公益財団法人宮城県文化振興財団]	12/12～ 12/18	東京エレクトロンホール宮城	230名	応募:156点 内、入賞・入選:39点
第9回子供の邦楽コンサート [主催:仙台三曲協会]	3/25	仙台市戦災復興記念館	119名	出演:29名

### ③後援事業

「河北書道展」など、本協会に本年度申請された65件の作品展や演奏会に対し、後援名義の使用許可及び賞交付(賞状や賞品等)を行った。

## (3) 国内及び国外との芸術文化の交流【公益目的事業 3】

定款第4条(3)に規定する国内及び国外との芸術文化の交流を目的とした各事業を次のとおり実施した。

### ○東北・北海道芸術文化団体協議会交流事業

東北・北海道の各県道を代表する芸術総合文化団体との相互交流を図ることを目的とし、本協会含め7団体で構成する東北・北海道芸術文化団体協議会総会及び交流事業としての創立50周年記念事業の企画協議を昨年に引き続き、コロナ感染状況を鑑み、本 Zoom によるオンライン形式で行った。

また、機関紙「北斗」(47号)を「コロナ禍の下の芸術文化活動」をテーマとして発行した。(2月15日付発行1,070部・テーマ執筆:沼倉 良郎 事務局長・表紙(絵)吉田 利弘 理事長、(題字)加納 鳴鳳 理事)

○宮城県・吉林省交流事業

宮城県と中国吉林省の友好県省締結 35 周年記念事業として、県からの協力要請を受け、交流事業を次のとおり実施した。

事業名	期日	会場	備考
(宮城県・吉林省友好県省締結 35 周年記念交流事業) 文化芸術交流 35 年目の現在地 工芸・写真展 (共催: (中国) 吉林省・宮城県)	9/21~9/25	宮城県美術館 (県民ギャラリー及び講堂)	①工芸・写真展 〔吉林省〕工芸:20 点(映像展示)、写真:29 点 〔宮城県(本協会)]工芸:20 点、写真:29 点 会期内来場者:655 名 ②開会式対応華道部 3 会員・邦楽部 2 会員

**(4) 会員の資質向上のための研修会等の実施及び調査研究並びに出版物の刊行など【他事業】**

定款第 4 条(4)会員の資質向上のための研修会等の実施及び調査研究並びに出版物の刊行 (5)その他この法人の目的を達成するために必要な事業一に関する事業を次のとおり実施した。

①主に本協会会員の研修の機会とし、資質の向上と創作・発表活動の活性化に資することを目的としながら、多くの県民にも参加の機会を提供する事業としての研修事業を次のとおり実施した。

事業名	期日	会場	参加者数	備考
講演会	5/21	仙台市福祉プラザ	78 名	講師:白津 守康 氏 演題:「東北に演芸の木を育てる」
茶道部研修講演会	6/29	せんだいメディアテーク	45 名	講師:幾世橋 陽子 氏 演題:「お菓子の話 創作和菓子・想像の翼を広げて」

②本協会の活動状況等の発信及び会員同士の情報交換を図るため、機関紙「はなやま」、隔年発行による「会員名簿」を次のとおり発行した。

事業名 (発行号数)	発行日	発行部数	内容	
機関紙「はなやま」刊行	(232 号)	4/25	2,550 部	総会開催連絡、令和 3 度事業計画・予算書等
	(233 号)	8/3		総会開催報告、令和 2 年度決算・事業報告等
	(234 号)	11/4		芸術祭受賞者一覧、芸術選奨会員受賞者紹介等
	(235 号)	1/31		理事長年頭挨拶、年男・年女会員年賀挨拶等
「会員名簿」発行	7/25	2,200 部	役員改選に伴うもの	

◎本年度中止事業について

新型コロナウイルス感染状況等により次の事業を中止とした。

事業種別	事業名	担当部門	
公益目的事業1 (宮城県芸術祭)	茶会	茶道部	
公益目的事業2 (主催・後援事業)	伝統文化体験事業	第 24 回杜の都大茶会	茶道部
	人材育成事業	県民との美術交流・ギャラリートーク	絵画部
他事業	研修	絵画部スケッチ研修会	絵画部